

▶ 分野別の概況

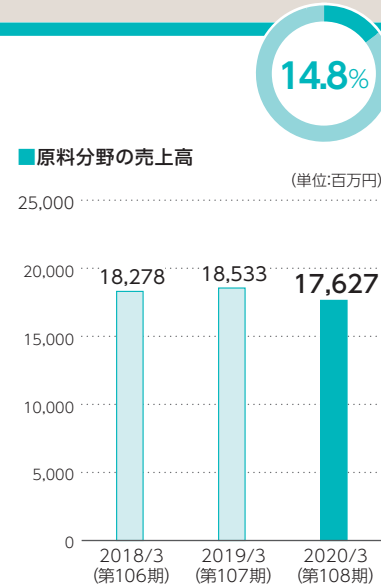
原料分野



原料分野は、天然繊維原料は、各産地に共通し稼働状況が停滞気味で低調な商況となり、主力事業の綿糸販売は非常に苦戦を強いられました。合成繊維原料は、年間を通し合織加工糸・備蓄糸は堅調に推移したものの、高付加価値原料において生産進捗の遅れが影響し苦戦しました。

このような状況の下、当社グループは、テキスタイル分野との連携による相乗効果の創出を推進し、優良取引先との取り組み深耕や、生産集約による加工効率向上により収益基盤の構築に努めるなど業績の維持拡大を図りました。

この結果、原料分野の売上高は17,627百万円(前期比4.9%減)となりました。



14.8%

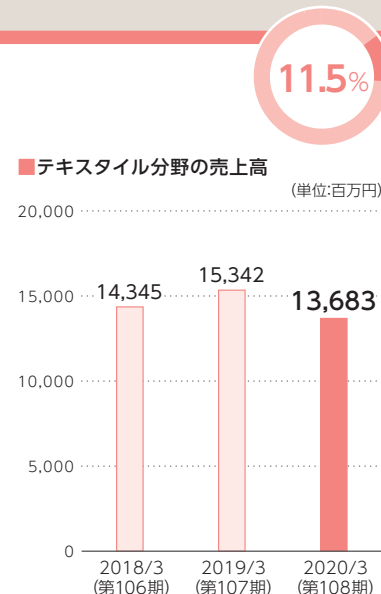
テキスタイル分野



テキスタイル分野は、産地の稼働状況も低調で力強さに欠いた上、運賃・倉敷料の高騰や、ニッター・染工場の人手不足による生産キャパシティ不足、工賃の値上げ要請など、総じて収益を圧迫する厳しい経営環境となり、採算面の維持に苦慮する一年となりました。

このような状況の下、当社グループは、販売戦略の要である「テキスタイル・プロジェクト」において、素材企画力を活かした売れ筋商材開発やグループ会社との合同展示会開催による販売強化に努めました。また原料分野との協業強化を意識しながら、戦略商材の開発に注力いたしました。

この結果、テキスタイル分野の売上高は13,683百万円(前期比10.8%減)となりました。



11.5%

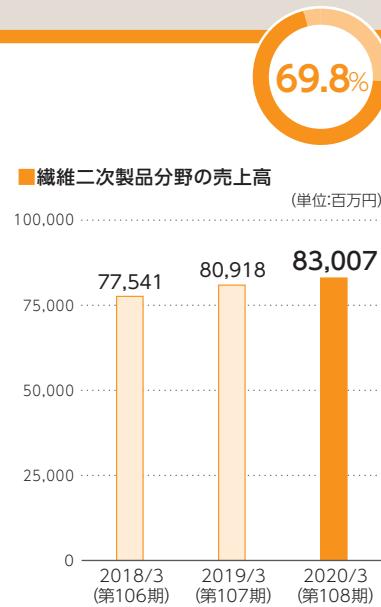
繊維二次製品分野



繊維二次製品分野は、消費増税による消費マインドの冷え込みに加え、記録的な暖冬による冬物重衣料の販売不振など苦戦を強いられました。一方でブランド力・デザイン性など、付加価値の高い商材やファッション性を取り入れたワーク系商材については総じて好調に推移しました。但し2月から3月にかけては物流面や販売面で新型コロナウイルス感染症の影響を受けました。

このような状況の下、当社グループは、企画段階から請け負った製造・供給するODM生産を推進する一方、原料・テキスタイル分野との協業や新規オリジナル商材の開発を加速しており、市場での競争力を強化することに努めました。また、幅広い層に向けたライセンスビジネスの拡大にも注力いたしました。

この結果、繊維二次製品分野の売上高は83,007百万円(前期比2.6%増)となりました。



69.8%

(※売上高構成比はこの他に、繊維事業その他3.5%、不動産事業0.4%があります。)

▶ TOPICS



新中期経営計画「MAKE A DREAM, 1+∞」がスタート

当社グループは、2023年3月期を最終年度とする中期経営計画をスタートさせました。スローガンである「MAKE A DREAM, 1+∞」には、「人と人を繋いで夢を追う」意味を込めています。従業員、グループ会社、グローバル拠点、お取引先様とのネットワーク等を結集して、一丸となって新たな価値の創造(新領域の開拓)にチャレンジし、可能性を無限大に広げ、夢を追い求めていくさまを表しています。

新型コロナウイルス感染症の影響による、世界的な景気後退が懸念される中においても危機感をもって堅実な事業運営を行いつつ、繊維にとどまらないその先の領域に向けて着実に対応できるよう邁進してまいります。

韓国 ライム社(旧ファインテックス社)とナノファイバー製品のグローバル販売に関する業務提携

2020年1月に、当社はナノファイバー製品の製造を手掛ける韓国のライム社とグローバル販売契約を締結し、業務提携を行いました。同社は、ファイバー工学領域の国際的教育研究拠点として認知されている国立信州大学繊維学部との研究開発により、量産型ナノファイバー製品で世界最高水準の技術力と経験を有しています。このナノファイバー製品は、世界的に高い評価を受けるとともに、高品質なナノファイバーの特性を活用した展開領域の拡大が期待されています。当社は、ライム社及び信州大学と開発するナノファイバー製品を「NANOXERA™(ナノクセラ)」ブランドとして、産業資材・衣料・衛材といった幅広い産業領域で新たなビジネスにチャレンジしてまいります。



ナノクセラ公式Webサイト <https://nanoxera.com/>

nano tech 2020にて「新規ピックアップ賞」を受賞

上記の「NANOXERA™(ナノクセラ)」を紹介するために当社が出席した「nano tech 2020 第19回国際ナノテクノロジー総合展・技術会議」において、「新規ピックアップ賞」を受賞しました。これは、今回が初出展となる80以上の企業・大学・プロジェクト等の中から、最も優れた技術・研究成果を持ち、取り組みを行っている団体に賞されるものです。



当社グループは、持続可能な社会の発展を目指し、エシカルへの取り組みを総称して「YAGIthical(ヤギシカル)」と名付け、人や社会、環境に配慮した取り組みを行っています。今期の代表的なヤギシカルの取り組みをご紹介します。

■ ヤギシカルの活動は、国連の提唱する持続可能な開発目標(SDGs)と関連付け、SDGsの達成に貢献してまいります。

リサイカラーはアパレル製品の生産過程で発生し、縫製工場で廃棄されるはずの生地(コットン)の切れ端を回収し色ごとに分類、それら生地の切れ端から糸を再生します。

アシャオーガニックは上質なオーガニック素材のテキスタイルブランド。インドの農家と連携し、一切の農業や化学肥料を使用せず、綿花の栽培から生地の製造を行っています。

一般財団法人PEACE BY PEACE COTTONが取り組むPEACE BY PEACE COTTONプロジェクトは、インド産のオーガニックコットンを使用した製品に基金を付けて販売し、その基金を活用してインドの綿農家の有機農法への転換支援と、農家の子供たちの就学・奨学支援を行う取り組みで、ヤギはこのプロジェクトに積極的に参加しています。

フォレシカは、普段の生活の中でファッションやライフスタイルを通じてエシカルな選択ができるよう、環境負荷が少ない原料や製法を用いながら顧客ニーズに合わせたエシカルテキスタイルブランドです。

サイクルダウンは廃品となった羽毛を回収し、丁寧に洗浄することで、もう一度使用可能な高品質な羽毛に蘇らせています。良いものを長く、そして限りある資源を次の世代へ残していくための取り組みです。

リプロパークは「リペアがたなく、豊かな生活を目指して」をミッションに、アパレル商品及びファッション雑貨の補修、クリーニングなどを行っています。

当社のグループ会社Dream boxが新しい健康・美容サブスクリプションサービスをスタート

2019年11月にグループ会社化したDream box社(ドリームボックス社)は、九州発のスタートアップ企業であり、様々な健康・フィットネス領域の事業を段階的に開始し、新しい健康生活の付加価値提案に取り組んでいます。当社はDream box社が開発する「健康データプラットフォーム」によりヘルスケア領域での商品・サービス開発と、BtoC事業のシナジー強化を進めてまいります。またDream box社は、女性の健康・美容を応援する新しいサブスクリプションサービス、「B(ビー)」を2020年3月からスタートしました。

「B」という名前の由来は「Best performance」です。「心と身体が健康であることが美しさの源。一生に一度しかない今日がある」としてのベストパフォーマンスであって欲しい。そして、今日も明日もそのパフォーマンスが続きますように。」Bという名前には、そんな想いが込められています。



「B」Webサイト <https://bespa.app/>

自社テキスタイルECサイト「Fably」を新たにオープン — 手作りマスクにおすすめの抗菌生地の販売もスタート —

2020年1月にオープンしたFablyは「生地に関するプロツール」をコンセプトに、「検索機能」「在庫・品質データの確認」「一目でわかる新商品・注目のテキスタイル」そして「購入決済」までの全機能をシンプルな操作で行えるのが特徴です。これらの機能に加え、スマートフォン対応や24時間クレジットカード決済も可能なことから、一般の消費者を含めリモートワーク時にも大変便利と好評をいただき、サービス開始から順調に会員数を伸ばしております。

更に、4月からは抗菌防臭加工素材を中心としたマスク作りに適した生地の販売と、すぐに使えるマスク用型紙の無料ダウンロードサービスもスタートしました。今後は、自社商品以外の幅広い商品を取り揃えてFablyのプラットフォーム化を進め、より高い利便性を提供してまいります。



Fably Webサイト <https://www.fably.jp/shop/>

YAGIthical メルマガ配信活動

ヤギシカルの活動を社内外で推進させるための社内組織「エシカル推進グループ」では、昨年4月から当社の全社員に向けて、「YAGIthicalメルマガジン」の定期的な配信をスタートしました。内容は、エシカル・サステナビリティに関連する国内外の様々なトピックスや社内での取り組み、現在進行中のグループの活動等を続けて配信しています。このメルマガ配信を通して、世界で進むサステナビリティの現状を社員が認識する事によって社内にヤギシカルの浸透を図り、サステナビリティを継続させる意識付けを行っています。